

- 問1 南北朝時代において、守護が「守護大名」へと成長し、一国を領国として支配するに至った背景として、当時の社会状況を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 幕府が半済令を出し、守護が荘園や公領の年貢の半分を軍費として徴収することを認めたため。 | 2. 有力な農民が武装して国人となり、幕府の権威を借りずに自ら一国を統治し始めたため。 | 3. 鎌倉幕府の滅亡後、すべての武士が天皇から直接領地を安堵される仕組みに変わったため。 | 4. 地頭が土地の管理権を強め、幕府の許可なく独自に検地を行うことが一般化したため。 |
|--|---|--|--|
- 問2 14世紀末から15世紀初めにかけて、室町幕府の第3代将軍である足利義満が明の皇帝から「日本国王」として認められ、正式に開始した貿易を何といいますか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 朱印船貿易 | 2. 日宋貿易 | 3. 日明貿易 | 4. 南蛮貿易 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問3 琉球王国は、明（中国）や日本、朝鮮、そして東南アジアの諸国を結ぶ地理的な利点を活かして繁栄しました。各地の産物を仕入れ、それを別の国へ販売することで利益を得る、当時の琉球の主要な貿易形態を何といいますか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 勘合貿易 | 2. 中継貿易 | 3. 南蛮貿易 | 4. 朱印船貿易 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問4 室町幕府の三代将軍である足利義満は、明（中国）との間で正式な国交を結び、貿易を開始しました。この貿易では、文字が記された札を二つに分けた「勘合（かんごう）」と呼ばれる道具が用いられましたが、このような仕組みが導入された背景として最も適切なものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. ポルトガルやスペインの商人が持ち込むキリスト教の布教を、厳しく制限する必要があったため。 | 2. 東アジアの沿岸部で略奪行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため。 | 3. 朱印状を持った日本船が東南アジアへ進出することを、明の皇帝が公式に認めたため | 4. 日本から輸出される銀や銅の総量を、幕府が正確に管理して独占する必要があったため。 |
|---|--|---|---|
- 問5 日明貿易（勘合貿易）において用いられた「勘合」の役割と、この貿易が当時の日本社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 明への服従を拒否するために勘合が使われ、日本から輸出された生糸が国内の産業を圧迫することになった。 | 2. 幕府が貿易を独占するために勘合が使われ、日本から輸出された陶磁器が明の文化に大きな影響を与えた。 | 3. キリスト教の布教を制限するために勘合が使われ、輸入された銀が日本国内の物価を安定させる要因となった。 | 4. 正式な貿易船と倭寇を区別するために勘合が使われ、輸入された銅銭によって国内の貨幣経済の発達が促された。 |
|--|---|---|--|
- 問6 室町時代に大成された「能」が、現在まで続く伝統芸能として高い芸術性を持つに至った背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. キリスト教の布教とともに伝来した西洋音楽の要素を取り入れ、新しい劇の形式を作ったため。 | 2. 幕府の将軍や守護大名が、自らの権威や教養を示すための儀礼的な芸能として保護・育成したため。 | 3. 鎖国体制下において、日本独自の文字や言語を用いた庶民向けの娯楽として発展したため。 | 4. 応仁の乱で荒廃した京都の復興を願う民衆が、寺社の境内などで自由に風刺劇を演じたため。 |
|--|--|--|---|
- 問7 15世紀、沖縄本島を中心に成立した琉球王国が、中国（明）や日本、朝鮮、東南アジアなどの国々の間を仲立ちし、それぞれの地域の産物を転売することで大きな利益を得た貿易の名称は何といいますか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 南蛮貿易 | 2. 中継貿易 | 3. 勘合貿易 | 4. 朱印船貿易 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問8 日本の仏教史に関する年表において、飛鳥時代の法隆寺建立や平安時代の天台宗・真言宗の成立といった古代の事象とは時代区分が異なり、室町時代から戦国時代にかけて、浄土真宗（一向宗）の門徒たちが信仰を背景に結びつき、守護大名などの領主に抵抗して起こした武装蜂起を何と呼びますか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|--------|---------|
| 1. 打ちこわし | 2. 惣村 | 3. 土一揆 | 4. 一向一揆 |
|----------|-------|--------|---------|
- 問9 12世紀から15世紀にかけての日本と大陸・諸地域との交流の歴史について、発生した出来事の時系列として正しい組み合わせはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 元の軍勢による九州北部への侵攻
—— 平清盛による日宋貿易の推進
—— 尚氏による琉球王国の建国 | 2. 平清盛による日宋貿易の推進
—— 元の軍勢による九州北部への侵攻
—— 尚氏による琉球王国の建国 | 3. 尚氏による琉球王国の建国
—— 元の軍勢による九州北部への侵攻
—— 平清盛による日宋貿易の推進 | 4. 平清盛による日宋貿易の推進
—— 尚氏による琉球王国の建国
—— 元の軍勢による九州北部への侵攻 |
|---|---|---|---|
- 問10 室町時代に土一揆が頻発するようになった社会的な背景について、当時の組織の在り方に触れた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. キリスト教の信仰のもとに農民が団結し、領主による宗教的な弾圧に抵抗したため | 2. 座と呼ばれる商人の組合が農民と協力し、特定の商品の独占販売権を幕府に認めさせたため | 3. 農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織を作り、村々が連携して要求を通す力を蓄えたため | 4. 守護大名が領地を広げるために、農民を兵士として組織して幕府を倒そうとしたため |
|--|--|---|---|
- 問11 室町時代、足利義満が明の皇帝から日本国王に封じられ、朝貢の形式をとって開始した日明貿易（勘合貿易）の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 朝鮮との交易において、偽造を防ぐために「図書」と呼ばれる銅印を対馬の宗氏に管理させた。 | 2. 長崎の出島において、オランダ船が来航した際に商館長がオランダ風説書を提出した。 | 3. キリスト教の布教を目的とした宣教師の来航を制限するため、朱印状を発行した。 | 4. 海賊である倭寇と正式な貿易船を区別するために、勘合と呼ばれる割符を照合させた。 |
|--|--|--|--|
- 問12 室町時代に形成された村の自治組織である「惣」の活動内容や背景について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 鎌倉時代に地頭が農民を厳しく支配したことに対し、農民たちが耕作を放棄して山野に逃げ込む「逃散」を組織的に行った。 | 2. 有力な農民たちが「寄り合い」を開き、灌漑用水の管理や村独自の掟の運用など、自分たちで村を運営する自治を行った。 | 3. 商人や手工業者が神社や公家に税を納めることで、商品の販売や製造における独占的な権利を認められた。 | 4. 江戸幕府の支配体制のもとで、近隣の5軒程度の世帯が年貢の納入や犯罪の防止について連帯責任を負わされた。 |
|---|--|---|--|
- 問13 15世紀の東アジアにおいて、琉球王国は日本、中国（明）、朝鮮半島、東南アジアの国々を繋ぐ役割を担い繁栄しました。当時の琉球王国が中国（明）などへの朝貢貿易において輸出した、火山活動によって得られる特産品はどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 陶磁器 | 2. 象牙 | 3. 硫黄 | 4. 武器 |
|--------|-------|-------|-------|